

塩ビパイプ用ベントキャップ取扱説明書



使用上のご注意

- ・製品を落としたり、ぶついたり、施工の際に無理な力を加えて変形させると、塗装がはがれたり、耐久性や性能の劣化の原因になります。梱包をあけた状態で製品の変形等がございましたら、お手数ですがすみやかにご連絡下さい。



取扱い上のご注意

- ・防虫網付製品をご使用の場合は、網の清掃ができる場所に取付けて下さい。
- ・網部にほこりなどが付着すると風量低下・異音発生の原因になりますので、網部のほこりなどは定期的に取り除いて下さい。
- ・本体は強い防錆力がありますが、海岸近くなどの塩害の強い地域や塩素ガス・腐食性ガスの発生するところでは、錆が発生することがあります。
- ・化学薬品を使用する場合には取付けしないで下さい。また、本体には化学薬品（酸・シンナー等）がかからないように注意して下さい。
- ・本製品は、塩ビパイプ(VU)専用になっておりますのでご注意下さい。



施工上のご注意

- ・外壁とベントキャップ、外壁とパイプの隙間に必ずコーキング処理を行って下さい。
- ・コーキング剤は施工後ひび割れによる隙間を生じないように、酸化性のものを避け、柔軟性を保つものをご使用下さい。
- ・給気の場合、建物環境、気象状況（風向・風速等）などが過酷な条件である時は、塩ビパイプ(VU)内に雨水が侵入する場合があります。侵入防止対策として、製品の選定を考慮し、塩ビパイプ(VU)の勾配（推奨勾配：1/30）、通気管の長さ（2 m以上）、止水板取付、適切な給気量設計（流速を上げすぎないこと）など、状況に応じた施工方法を施して下さい。

施工要領

1. 外壁を仕上げ、塩ビパイプ(VU)を外壁仕上がり面で切り、しっかりと固定する。
2. 本体差し込み部、塩ビパイプ(VU)に差し込む。
《この時、パッキン(エンピタイト)が正しくセットされているか確認して下さい。
なお、潤滑剤か水等をつけるとスムーズに差し込めます。
3. 外壁とベントキャップ、外壁とパイプの隙間にコーキング剤を充填する。

